

自校調理方式で早期に中学校全員給食等を求める要望署名

河内長野市長 島田 智明 様

河内長野市教育委員会教育長 松本 芳孝 様

中学校全員給食を求める会

代表 加藤 淑子

2017年4月から始まった中学校全員給食の実現をめざす運動は1万3000筆を超す署名を背景に、20年には島田市長が公約にかかげ、大きく前進してきました。21年2月に発足した「学校給食のあり方検討委員会」では全員給食を前提に実施方式などをめぐって論議がおこなわれ、22年5月に答申が出される予定です。

「温かくておいしい給食」「食育を充実させることができる給食」実現には、「自校調理方式」での実施が何より重要です。自校調理方式には現行のセンター方式に比べ以下のようなメリットがあります。

■自校調理方式のメリット

- ①何よりも、出来立てで美味しい。
- ②調理員や栄養士の顔が見え、食育に大きく貢献できる。栄養士の人数も増える。
- ③センター給食ではできない学校行事や警報時における学校ごとの対応ができる。
- ④「地産地消」が進めやすい。地元産を口にすることで、ふるさと河内長野への愛着がわく。
- ⑤大規模災害時には避難所の炊き出し施設にできる。
- ⑥万一の食中毒被害はセンター方式に比べ最小限ですむ。
- ⑦新たな用地費は不要。配送費用も不要で、市販の業務用厨房機器を使えるので生徒減にも対応でき、長期的には安い。センターは20年に一度大規模改修が必要で、2024年には改修が必要となる。期間中給食が止まることも考えられる。
- ⑧人口減対策が課題の本市にとって、「子育て世代」呼び込み施策の重要な柱となる。

食は命をつくります。人生最大の成長期である中学生が、自校調理の豊かな給食で心と身体を成長させていくことを願い、以下の通り要望致します。

【要望内容】

1. 自校調理方式で早期に中学校全員給食を実施してください。
2. 小学校給食も順次自校調理方式に切り替えてください。

氏 名	住 所

取り扱い団体 ()